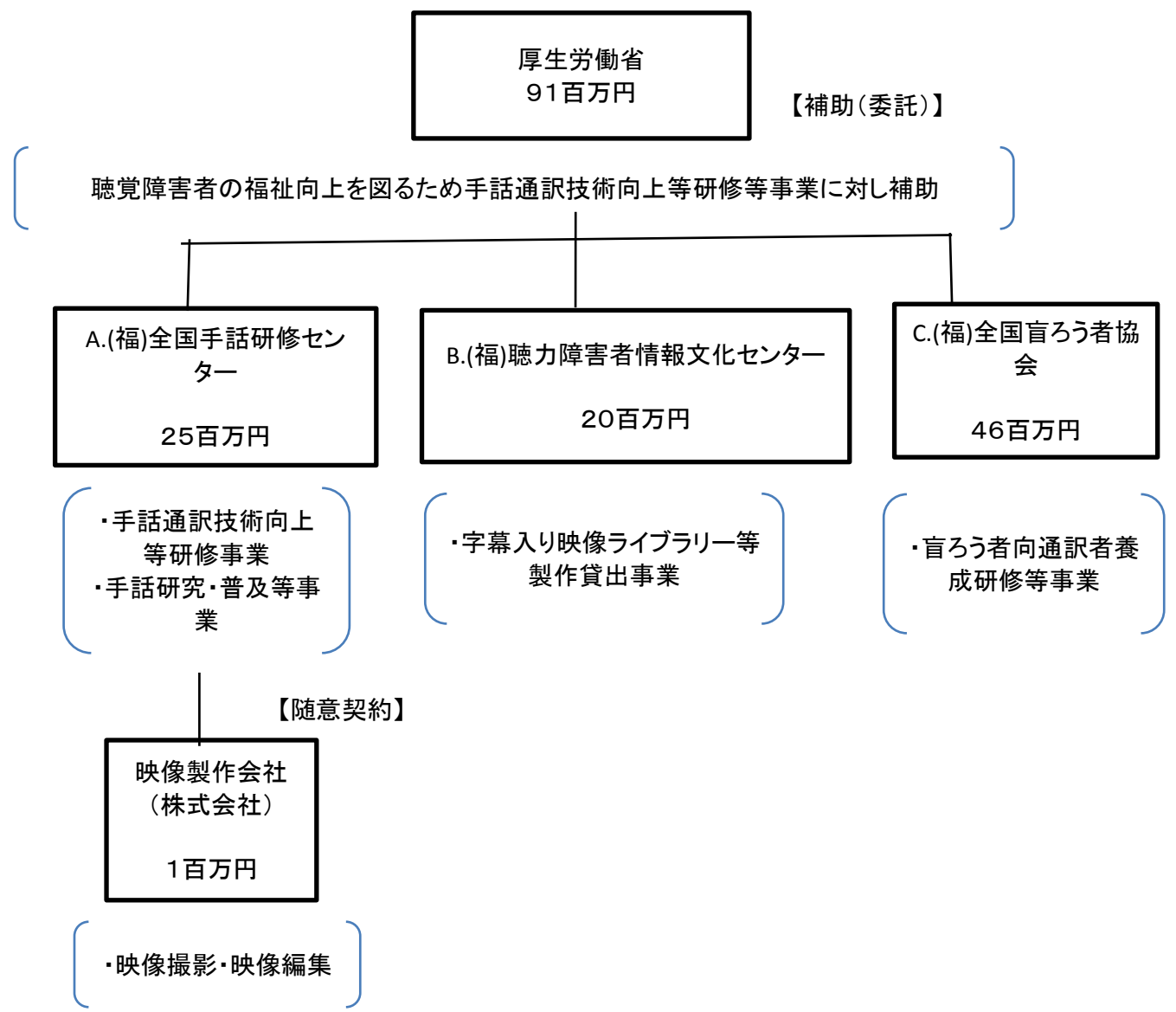


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	手話通訳技術向上等研修等	事業開始年度	昭和56年度	作成責任者		
担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部	担当課室	企画課自立支援振興室	矢田宏人		
会計区分	一般会計	上位政策	障害者の自立支援等に必要な経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算事業	関係する計画、通知等	平成19年3月31日発障発第0330008号 字幕入り映像ライブラリー等製作貸出事業について (通知)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	聴覚障害者及び盲ろう者の福祉向上を図るため、手話通訳技術向上等研修、手話研究・普及、字幕入り映像ライブラリー等製作貸出、要約筆記者指導員養成研修等及び盲ろう者向け通訳介助者養成研修等の事業を行い、もって聴覚障害者の福祉の促進に資することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	実施主体である団体(3団体)が行う手話通訳技術向上等研修事業、盲ろう者向け通訳介助者養成研修等の事業に要する費用に対し委託費を交付している。					
実施状況	平成21年度の実施状況 ①手話通訳技術向上等研修事業(研修会22回、修了者369名) ②手話研究・普及事業(156単語) ③字幕入り映像ライブラリー等製作貸出事業 ④盲ろう者向け通訳介助者養成研修等事業(研修会2回、受講者115名)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	91	91	91	102	117
	執行額	91	91	91		
	執行率	100%	99%	100%		
	総事業費(執行ベース)	91	91	91		
自己点検	支出先・使途の把握 水準・状況	当該委託費は、団体毎に交付決定・交付額の確定を行っており、事業毎に適正に執行されている。				
	見直しの余地	○平成20年度に行われた「無駄遣い撲滅プロジェクトチーム」において広報経費が廃止・縮減の対象とされたところであるが、当該経費は、盲ろう者及び通訳・介助者等に広報誌を通じて広く必要な情報を提供すること、また、各自治体に対する盲ろう者向け事業の啓発を目的とした会議の開催等に必要な経費であるため、縮減は困難であるとされている。 ○なお、内閣府に設置されている「障がい者制度改革推進会議」において、本年1月から検討が開始された新たな総合的な制度についての検討状況を踏まえつつ、必要な対応を行うこととしている。				
予算チームの監視・効率化	本事業の必要性や執行の観点からも適切であり、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

(20年度実績の例)



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

(注)計数は各欄で端数処理(四捨五入)している。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(福)全国手話研修センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	研修講師謝金、手話研究委員謝金等	6			
賃金	賃金職員	9			
旅費	研修講師、手話研究委員旅費	5			
印刷製本費	研修会テキスト、案内通知等	2			
会場借料	研修会会場借料等	1			
委託料	映像製作会社 映像撮影、映像編集等	1			
その他	案内通知等発送、機材借料等	1			
計		25	計		0
B.(福)聴力障害者情報文化センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	字幕原稿作成、テロップ作成、複製費	7			
機器借料	字幕挿入装置リース等	5			
著作料	著作権処理費用	2			
賃金	賃金職員	3			
委員手当	企画編集委員手当	1			
その他	企画編集委員旅費、発送費等	2			
計		20	計		0
C.(福)全国盲ろう者協会			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研修部門等	18			
旅費	研修会企画委員旅費等	7			
印刷製本費	研修会テキスト、広報誌、報告書印刷	8			
諸謝金	研修会企画委員謝金等	4			
賃金	賃金職員	6			
会場借料	研修会会場借料等	1			
その他	通信運搬費、消耗品費等	2			
計		46	計		0
			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0